

久元 祐子 (ピアノ)

東大阪市文化創造館に常設してある3台のコンサートグランドピアノの選定会を行い、オープニングの折には、ピアノのお披露目コンサートに出演。

東京藝大を経て同大学院修了。ウィーン放送交響楽団、ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ウィーン・サロン・オーケストラ、ベルリン弦楽四重奏団など、内外のオーケストラや合奏団と多数共演。イタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。ブロードウッド (1810年頃製)、ペーゼンドルファー (1829年製)、プレイエル (1843年製)、エラール (1868年製) などのオリジナル楽器を所蔵。歴史的楽器を用いての演奏会や録音にも数多く取り組む。知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えたピアニストとして高い評価を受けている。「優雅なるモーツァルト」(レコード芸術特選盤、毎日新聞 CD 特薦盤) など CD16 作をリリース。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社) 他多数。国立音楽大学・大学院教授、日本で唯一のペーゼンドルファー・アーティスト。

久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>



© 武藤 章

永峰 高志 (ヴァイオリン)

1980年東京藝術大学卒業、NHK交響楽団第1ヴァイオリン次席奏者、第2ヴァイオリン首席奏者として活躍。2012年NHK交響楽団第32回有馬賞を授与。2015年同団退団。現在、オーケストラとの共演等ソリストや室内楽奏者として活躍すると同時に指揮者としての活動の場を広げている。N響メンバーによるオーケストラ、仙台フィルなどのほか多数のオーケストラを指揮。2018年シュトゥットガルト室内管弦楽団を指揮した際には絶賛を受ける。コンサートマスターとして新日本フィルハーモニー交響楽団に客演し好評と信頼を得る。国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にあたる。2010年より岩手県久慈市文化会館アンバーホールの芸術監督。数々の公演をプロデュースし成功を収める。使用楽器ストラディヴァリウス1723年製「ヨアヒム」(国立音楽大学より貸与)。オルガンと共演したCD「夕べの歌 - Abendlied」、ストラディヴァリウスを使用した「ロマンス～ヨアヒムの愛器でヨアヒムを聴く」をLPとCD同時リリースしている。



© michiko yamamoto

お問い合わせ先



東大阪市文化創造館
HIGASHIOSAKA Cultural Creation Hall

〒577-0034 東大阪市御厨南二丁目3番4号

TEL : 06-4307-5772 (受付時間 : 9:00 ~ 18:00)

休館日 : 毎月第2火曜日 (祝日の場合は翌日)

※受付時間は変更になる可能性があります。

アクセス

近鉄奈良線八戸ノ里駅 北約200m 徒歩約5分
※駐車場(有料)には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

